

人権教育だより

市川市立第三中学校
令和3年7月8日発行
(第4号)

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心

今回はLGBTについての記事を紹介します。

法務省人権擁護局のHPより抜粋して紹介させていただきます。これを機に考えてみましょう。

多様な性について考えよう！～性的指向と性自認～

あなたは「LGBT」という言葉を聞いたことがありますか？

LGBTとは次の言葉の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者（セクシャルマイノリティ）を表す言葉の一つとして使われることもあります。この機会に多様な性について考えてみましょう。（Sexual Orientation（性的指向）と Gender Identity（性自認）の頭文字をとった「SOGI」との表現もあります）

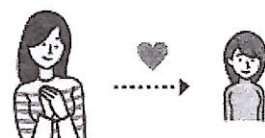
性的指向 Sexual Orientation

性的指向とは、どのような性別の人を好きになるか、ということです。
これは自分の意志で選び取るというより、多くの場合思春期の頃に「気付く」ものです。



Lesbian レズビアン

女性の同性愛者
(心の性が女性で恋愛対象も女性)



Gay ゲイ

男性の同性愛者
(心の性が男性で恋愛対象も男性)



Bisexual バイセクシャル

両性愛者
(恋愛対象が女性にも男性にも向いている)



性自認 Gender Identity

性自認（性の自己認識）とは、自分の性をどのように認識しているのか、ということです。
「心の性」と言われることもあります。多くの人は「身体の性」と「心の性」が一致していますが、
「身体の性」と「心の性」が一致せず、自身の身体に違和感を持つ人々もいます。



Transgender トランスジェンダー

「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人。「心の性」にそって生きたいと望む人も多く見られます。

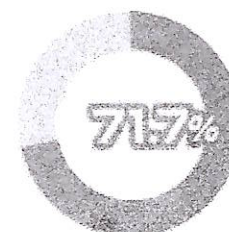


性的少数者に対する差別

LGBT当事者の意識調査 (2016年7月15日～10月31日実施)

【職場や学校での差別的発言】

15,064人のうち、職場や学校で差別的発言を聞いたことのある当事者は71.7%



【職場や学校でのカミングアウト】

15,064人のうち、職場や学校でカミングアウトしている当事者は27.6%



出典 日高真晴 宝塚大学言語学部教授 「LGBT当事者の意識調査 ―いじめ・職場環境問題―」

性的少数者に対する偏見や差別の例

- 「ホモ」「オカマ」「男らしくない」「女らしくない」などとからかう
- 「どこがおかしいのでは」「問題があるのでは」「気持ち悪い」などどうわき話をする
- 本人の了承なく、その人の性的指向や性自認について暴露する（アウティング）

いい世の中を作るために、一緒に考えていきましょう！

○引用文献 法務省人権擁護局 「多様な性について考えよう！」

<http://www.moj.go.jp/JINKEN/LGBT/index.html>